

【概要】

薬学における公衆衛生学は、「健康な人を対象に健康な人が病気にならないようにする学問」として、薬を必要としない健康体を維持するための予防健康科学の分野を担っている。人の健康の維持・増進のために、病気を予防し、環境によって引き起こされる疾病を防止するには、社会・集団の視点から健康と疾病を理解し、地域の中で普及することが重要である。公衆衛生学の講義では、公衆の健康的な生活を確保し、人々の健康状態に応じた予防や健康増進のために寄与する薬剤師活動を行うために必要な知識を社会・集団の立場から考察できることを目的とする。

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による。